

平成17年度  
中間決算説明資料

株式会社 和歌山銀行

【 目 次 】

平成17年度中間決算の概況

1. 中間決算概要	【単体】	..... P . 1
	【連結】	..... P . 4
2. 業務純益	【単体】	..... P . 5
3. 利鞘	【単体】	..... P . 5
4. 有価証券関係損益	【単体】	..... P . 5
5. 有価証券の評価損益	【単体】	..... P . 6
6. 自己資本比率	【単体・連結】	..... P . 7
7. ROE	【単体】	..... P . 7

貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	【単体・連結】	..... P . 8
2. 貸倒引当金の状況	【単体・連結】	..... P . 9
3. リスク管理債権に対する引当率	【単体・連結】	..... P . 9
4. 金融再生法開示債権	【単体・連結】	..... P . 10
5. 金融再生法開示債権の保全状況	【単体】	..... P . 10
6. 開示債権とその保全状況	【単体】	..... P . 11
7. 預金、貸出金の残高等	【単体】	..... P . 12

## 平成17年度中間決算の概況

## 1. 中間決算概要【単体】

## (1) 損益概況【単体】

(単位：百万円)

		平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
業務粗利益	1	4,285	101	4,386	8,965
(除く国債等債券関係損益)	2	4,287	82	4,369	8,877
資金利益	3	4,406	10	4,416	8,898
役務取引等利益	4	0	68	68	115
その他業務利益	5	119	21	98	48
(うち国債等債券関係損益)	6	1	18	17	88
経費(除く臨時処理分)	7	2,926	30	2,896	5,714
人件費	8	1,529	19	1,510	3,001
物件費	9	1,231	11	1,220	2,450
税金	10	165	0	165	262
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11	1,359	130	1,489	3,251
(除く国債等債券関係損益)	12	1,360	112	1,472	3,163
一般貸倒引当金繰入額	13	734	596	138	367
業務純益	14	2,093	465	1,628	3,618
臨時損益	15	1,515	1,695	3,210	2,644
不良債権処理額	16	1,441	2,252	3,693	3,520
うち貸出金償却	17	203	173	30	617
うち個別貸倒引当金繰入額	18	1,237	2,407	3,644	2,884
株式等関係損益	19	5	354	349	770
株式等売却益	20	0	349	349	770
株式等売却損	21				0
株式等償却	22	5	5		
その他臨時損益	23	67	200	133	105
経常利益(は経常損失)	24	577	2,160	1,583	971
特別損益	25	57	207	264	151
税引前中間(当期)純利益 (は税引前中間純損失)	26	634	1,952	1,318	1,123
法人税、住民税及び事業税	27	16	4	12	20
法人税等調整額	28	202	450	248	248
中間(当期)純利益 (は中間純損失)	29	415	1,993	1,578	854

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。前年同期比較は表上計算によります。

(2) 平成17年9月期中間決算(単体)の特徴

業務粗利益

資金運用収益は、貸出金利回りの低下により、貸出金利息が前年同期比20百万円減少しましたが、有価証券利息が前年同期比13百万円増加したことにより、前年同期比6百万円減少し4,556百万円となりました。また、資金調達費用は前年同期比ほぼ同水準で推移し152百万円となりました。この結果、資金利益は前年同期比10百万円減少し4,406百万円となりました。

役務取引等利益は、前年同期比68百万円減少し、その他業務利益は、国債等債券売却益が前年同期比40百万円減少したことが主要因となり前年同期比21百万円減少し119百万円となりました。以上により、業務粗利益は前年同期比101百万円減少し4,285百万円となりました。

経費

人件費は人員の削減効果はありましたが、前年同期から賞与の若干の引上げにより19百万円増加したことに加え、機械化等の費用の増加により物件費が前年同期比11百万円増加したことが要因となり、経費全体で30百万円増加し2,926百万円となりました。

業務純益

一般貸倒引当金の取崩が前年同期比596百万円増加したこと等により、業務純益は、前年同期比465百万円増加し2,093百万円となりました。

臨時損益・経常利益

株式等売却益が前年同期比349百万円減少したこと、不良債権に係る処理額が前年同期比2,252百万円減少(貸出金償却173百万円増加、個別貸倒引当金繰入額2,407百万円減少)したことが主要因となり、臨時損益は、1,695百万円改善し1,515百万円となりました。

上記により、経常利益は前年同期比2,160百万円増加し577百万円となりました。

特別損益

特別利益は、償却債権取立益が前年同期比59百万円減少し145百万円となりました。また、特別損失は、当中間期から固定資産の減損会計の導入により、減損損失を85百万円計上したことにより、前年同期比79百万円増加し88百万円となりました。その結果、特別損益は207百万円減少し57百万円となりました。

中間純利益

厳格な判断のもと、繰延税金資産を前期末計上額から270百万円取崩したこと等から法人税等調整額202百万円となり、中間純利益は前年同期比1,993百万円増加し415百万円となりました。

## (3) 主要勘定残高【単体】

(単位：億円)

		平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
貸出金	1	3,028	29	3,057	3,115
有価証券	2	553	19	572	523
コールローン・預け金等	3	589	9	598	492
その他	4	209	23	232	249
貸倒引当金	5	108	31	139	109
資産の部合計	6	4,273	48	4,321	4,272
預金・譲渡性預金	7	4,076	74	4,150	4,084
コールマネー等	8	1	0	1	0
その他	9	41	4	37	32
負債の部合計	10	4,119	70	4,189	4,116
資本金	11	127	0	127	127
資本剰余金	12	4	0	4	4
利益剰余金	13	17	26	9	15
土地再評価差額金	14	2	3	5	5
その他有価証券評価差額金	15	1	1	2	1
自己株式	16	0	0	0	0
資本の部合計	17	154	23	131	155
負債及び資本の部合計	18	4,273	48	4,321	4,272

(注) 金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。前年同期比較は表上計算によります。

## 【連結】

(中間連結損益計算書ベース)

(単位：百万円)

		平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
		(A)	(A) - (B)	(B)	
連結粗利益	1	4,395	122	4,517	9,181
資金利益	2	4,454	9	4,463	8,993
役務取引等利益	3	142	111	253	437
その他業務利益	4	201	2	199	250
営業経費	5	3,012	80	2,932	5,850
一般貸倒引当金繰入額	6	724	552	172	418
不良債権処理額	7	1,493	2,312	3,805	3,657
うち貸出金償却	8	220	135	85	756
うち個別貸倒引当金繰入額	9	1,272	2,429	3,701	2,881
その他経常損益(除く与信関係費用)	10	6	504	510	947
経常利益(は経常損失)	11	622	2,160	1,538	1,059
特別損益	12	58	207	265	139
税金等調整前中間(当期)純利益 (は税金等調整前純損失)	13	680	1,952	1,272	1,198
法人税、住民税及び事業税	14	35	2	37	48
法人税等調整額	15	202	38	240	249
少数株主利益	16	18	0	18	38
中間(当期)純利益(は中間純損失)	17	423	1,991	1,568	861

(注 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。前年同期比較は表上計算によります。)

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(連結対象会社数)

(単位：社)

連結子会社数	2	0	2	2
--------	---	---	---	---

## 2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,359	130	1,489	3,251
職員一人当たり(千円)	2,796	119	2,915	6,515
(2) 業務純益	2,093	465	1,628	3,618
職員一人当たり(千円)	4,307	1,120	3,187	7,251

## 3. 利鞘【単体】

全体

(単位:%)

	平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 資金運用利回 (イ)	2.24	0.04	2.20	2.23
貸出金利回 (ロ)	2.69	0.06	2.75	2.76
有価証券利回	1.47	0.12	1.35	1.35
(2) 資金調達原価 (ハ)	1.54	0.04	1.50	1.48
預金等原価 (ニ)	1.52	0.03	1.49	1.47
預金等利回	0.07	0.00	0.07	0.07
経費率	1.45	0.03	1.42	1.40
(3) 総資金利鞘 (イ) - (ハ)	0.70	0.00	0.70	0.75
(4) 預貸金利鞘 (ロ) - (ニ)	1.17	0.09	1.26	1.29

国内

(単位:%)

	平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
(1) 資金運用利回 (イ)	2.16	0.03	2.13	2.16
貸出金利回 (ロ)	2.69	0.06	2.75	2.76
有価証券利回	1.18	0.13	1.05	1.05
(2) 資金調達原価 (ハ)	1.52	0.03	1.49	1.47
預金等原価 (ニ)	1.51	0.04	1.47	1.45
預金等利回	0.07	0.00	0.07	0.07
経費率	1.43	0.03	1.40	1.38
(3) 総資金利鞘 (イ) - (ハ)	0.64	0.00	0.64	0.69
(4) 預貸金利鞘 (ロ) - (ニ)	1.18	0.10	1.28	1.31

## 4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
国債等債券関係損益(債券5勘定戻)	1	18	17	88
売却益	17	40	57	156
償還益	3	1	2	2
売却損	11	19	30	49
償還損	11	1	12	21
償却				

(単位:百万円)

	平成17年9月期		平成16年9月期	平成17年3月期 (平成16年度)
	(A)	(A) - (B)	(B)	
株式等損益(株式3勘定戻)	5	354	349	770
売却益	0	349	349	770
売却損				0
償却	5	5		

## 5. 有価証券の評価損益

## (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券		時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券		償却原価法
その他有価証券	時価のあるもの	時価法（評価差額を全部資本直入により処理）
	時価のないもの	原価法又は償却原価法
子会社株式及び関連会社株式		原価法

## (2) 評価損益

## 【単体】

(単位：百万円)

	平成17年9月末				平成17年3月末		
	評価損益	17年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的有価証券	672	135	323	996	807	455	1,263
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	228	61	488	259	289	488	198
株式	316	62	321	4	254	265	10
債券	129	205	93	223	76	201	124
うち国債	148	97	23	172	51	63	115
その他	41	82	73	32	41	21	62
合計	444	74	812	1,256	518	943	1,461
株式	316	62	321	4	254	265	10
債券	124	369	376	252	493	642	148
その他	885	381	114	999	1,266	35	1,302

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額（時価）と取得原価との差額を計上しております。

2. 平成17年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は136百万円、平成17年3月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、172百万円であります。

## 6. 自己資本比率 (国内基準)

## 【 単 体 】

(単位: 百万円)

	17年9月末			17年3月末	16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
(1) 自己資本比率	7.30%	0.42%	1.40%	6.88%	5.90%
(2) 基本的项目	15,037	516	2,699	14,521	12,338
(3) 補完的项目	1,800	127	145	1,927	1,945
(イ) 一般貸倒引当金	1,437	51	69	1,488	1,506
(ロ) 負債性資本調達手段等					
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	16,787	389	2,554	16,398	14,233
(6) リスクアセット	229,956	8,209	11,084	238,165	241,040
(参考) Tier 比率	6.53%	0.44%	1.42%	6.09%	5.11%

## 【 連 結 】

(単位: 百万円)

	17年9月末			17年3月末	16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
(1) 自己資本比率	7.40%	0.42%	1.43%	6.98%	5.97%
(2) 基本的项目	15,330	545	2,740	14,785	12,590
(3) 補完的项目	1,804	126	152	1,930	1,956
(イ) 一般貸倒引当金	1,441	50	76	1,491	1,517
(ロ) 負債性資本調達手段等					
(4) 控除項目	50	0	0	50	50
(5) 自己資本(2) + (3) - (4)	17,083	418	2,588	16,665	14,495
(6) リスクアセット	230,592	8,100	12,187	238,692	242,779
(参考) Tier 比率	6.64%	0.45%	1.46%	6.19%	5.18%

## 7. ROE

## 【 単 体 】

(単位: %)

	17年度中間期			16年度	16年度中間期
	(17年9月期)	16年度比	16年度中間期比		
業務純益ベース(一般貸倒引当金繰入前)(注1)	17.50	3.68	3.48	21.18	20.98
業務純益ベース(注2)	26.97	3.40	4.03	23.57	22.94
当期純利益ベース(注3)	5.35			5.56	

(注1)  $\frac{\text{業務純益(一般貸倒引当金繰入前)}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

(注2)  $\frac{\text{業務純益}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

(注3)  $\frac{\text{中間(当期)純利益}}{(\text{期首株主資本} + \text{中間期末(期末)株主資本}) \div 2} \times 100$

中間期については年間に換算し計算しております。

## 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施(前・後)

【単体】

(単位:百万円)

		17年9月末			17年3月末	16年9月末
			17年3月末比	16年9月末比		
リスク管理債権	破綻先債権額	4,269	1,488	379	2,781	3,890
	延滞債権額	27,534	1,645	1,827	29,179	29,361
	3ヶ月以上延滞債権額	7	107	637	114	644
	貸出条件緩和債権額	4,942	1,510	1,663	6,452	6,605
	合計	36,753	1,774	3,749	38,527	40,502
部分直接償却額		18,719	4,562	2,929	23,281	21,648
総貸出金		302,876	8,718	2,853	311,594	305,729

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	1.41	0.52	0.14	0.89	1.27
	延滞債権額	9.09	0.27	0.51	9.36	9.60
	3ヶ月以上延滞債権額	0.00	0.04	0.21	0.04	0.21
	貸出条件緩和債権額	1.63	0.44	0.53	2.07	2.16
	合計	12.13	0.23	1.12	12.36	13.25

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

部分直接償却実施(前・後)

【連結】

(単位:百万円)

		17年9月末			17年3月末	16年9月末
			17年3月末比	16年9月末比		
リスク管理債権	破綻先債権額	4,276	1,484	373	2,792	3,903
	延滞債権額	27,627	1,737	1,938	29,364	29,565
	3ヶ月以上延滞債権額	25	124	657	149	682
	貸出条件緩和債権額	4,945	1,513	1,666	6,458	6,611
	合計	36,873	1,891	3,889	38,764	40,762
部分直接償却額		18,719	4,562	2,929	23,281	21,648
総貸出金		302,449	8,760	4,971	311,209	307,420

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権額	1.41	0.51	0.14	0.90	1.27
	延滞債権額	9.13	0.31	0.49	9.44	9.62
	3ヶ月以上延滞債権額	0.01	0.04	0.21	0.05	0.22
	貸出条件緩和債権額	1.63	0.45	0.52	2.08	2.15
	合計	12.19	0.27	1.07	12.46	13.26

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 2. 貸倒引当金等の状況

部分直接償却実施(前・**後**)

## 【単体】

(単位:百万円)

	17年9月末		17年3月末		16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
貸倒引当金	10,838	114	3,081	10,952	13,919
一般貸倒引当金	2,038	734	963	2,772	3,001
個別貸倒引当金	8,800	620	2,118	8,180	10,918
特定海外債権引当勘定					
債権売却損失引当金					

## 【連結】

(単位:百万円)

	17年9月末		17年3月末		16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
貸倒引当金	11,142	91	3,079	11,233	14,221
一般貸倒引当金	2,196	739	929	2,935	3,125
個別貸倒引当金	8,946	648	2,149	8,298	11,095
特定海外債権引当勘定					
債権売却損失引当金					

## 3. リスク管理債権に対する引当率

## 【単体】

(単位:%)

	17年9月末		17年3月末		16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
部分直接償却後	29.49	1.06	4.88	28.43	34.37

(注) 1. 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

2. 小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 【連結】

(単位:%)

	17年9月末		17年3月末		16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
部分直接償却後	30.22	1.24	4.67	28.98	34.89

(注) 1. 貸倒引当率 = 貸倒引当金 / リスク管理債権

2. 小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 4. 金融再生法開示債権

部分直接償却実施(前・**後**)

## 【単体】

(単位:百万円)

	17年9月末			17年3月末	16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,470	1,853	991	14,617	15,479
危険債権	15,481	2,016	2,360	17,497	17,841
要管理債権	4,949	1,607	2,301	6,556	7,250
合計(A)	36,901	1,781	3,670	38,682	40,571
総与信残高(B)	305,596	8,568	2,935	314,164	308,531
総与信に占める比率(A)÷(B)	12.08%	0.23%	1.07%	12.31%	13.15%

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 【連結】

(単位:百万円)

	17年9月末			17年3月末	16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,605	1,876	990	14,729	15,615
危険債権	15,568	2,014	2,354	17,582	17,922
要管理債権	4,995	1,612	2,298	6,607	7,293
合計(A)	37,169	1,750	3,662	38,919	40,831
総与信残高(B)	306,109	8,574	4,148	314,683	310,257
総与信に占める比率(A)÷(B)	12.14%	0.23%	1.02%	12.37%	13.16%

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

## 5. 金融再生法開示債権の保全状況

## 【単体】

(単位:百万円)

	17年9月末			17年3月末	16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
保 全 額 (C)	34,929	1,353	3,802	36,282	38,731
貸倒引当金(D)	9,734	206	1,955	9,528	11,689
担保保証等(E)	25,194	1,559	1,848	26,753	27,042

(注) 貸倒引当金には、個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額を記載しております。

保全率(C)÷(A)	94.66%	0.86%	0.80%	93.80%	95.46%
------------	--------	-------	-------	--------	--------

(注)少数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

担保保証等控除後の開示債権 に対する引当率 (D)÷((A)-(E))	83.15%	3.28%	3.25%	79.87%	86.40%
---	--------	-------	-------	--------	--------

## 6. 開示債権とその保全状況【単体】

直接減額後ベース  
未収利息不計上基準：自己査定における債務者区分が破綻懸念先、実質破綻先、破綻先である債務者に対する貸出金の未収利息を不計上としております。

自己査定の債務者区分	金融再生法に基づく開示債権	保全状況	引当方針	(単位：億円)	
				引当金残高 (引当率)	個別貸倒引当金
破綻先	破産更生債権及びこれらに 準ずる債権 165 (16/9末比 410)	保全 119 非保全 45	保全不足額に対し100%引当	45 (100%)	個別貸倒引当金
実質破綻先	危険債権 155 (16/9末比 24)	保全 114 非保全 41	債権の回収可能性等を勘案して個別に査定のうえ必要とする額を引当	41 (100%)	
破綻懸念先	要管理債権 49 (16/3末比 23)	要管理債権中の担保・保証等による保全部分 19	自己査定の債務者区分(要留意先、正常先)に応じて過去の実績率に基づいて将来の予想損失額を引当	11 (35.3%)	要管理債権に対する引当
要注意先	正常債権 2,687			9 (平均0.34%)	
正常先					

## 特定海外債権引当勘定

総計	3,056
----	-------

貸倒引当金計	106
B. 個別引当金+要管理債権に対する一般貸倒引当金	97

A= + +	369 (16/9末比 37)
--------	--------------------

C 担保保証等による保全部分	252	D 担保・保証等による保全部分以外	117
----------------	-----	-------------------	-----

担保・保証等控除後債権に対する引当率 (B/D) 83.2% (16/9末比 -3.0%)
---

保全率 ( (B+C) / A ) 94.7% (16/9末比 -0.8%)
--

- (注) 1. 金額、引当率は、四捨五入して表示しております。  
2. 前年同期比較は、表上計算によります。  
3. 破綻先・実質破綻先に対して部分直接償却187億円実施しております。  
4. 引当率は、各区分に対する各引当額によるカバー率を示しておりますが「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」については開示額から担保等により保全された金額を除いた残額に対するカバー率を示しております。

## 7. 預金、貸出金の残高等

## (1) 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	平成17年9月末			平成17年3月末	平成16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
預 金 ( 未 残 )	407,640	763	7,397	408,403	415,037
( 平 残 )	401,691	5,738	4,457	407,429	406,148
貸 出 金 ( 未 残 )	302,876	8,718	2,853	311,594	305,729
( 平 残 )	305,487	2,096	4,597	303,391	300,890

## (2) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	平成17年9月末			平成17年3月末	平成16年9月末
		17年3月末比	16年9月末比		
消 費 者 ロ ー ン 残 高	81,332	1,234	1,700	82,566	83,032
うち住宅ローン	68,382	579	260	68,961	68,642